

平成 30 年度（2018 年度）

小平市民活動支援センターあすぴあ

管理運営事業報告



令和元年（2019）年 5 月

小平市民活動支援センターあすぴあ指定管理者
特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク



事業総括

NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすぴあの指定管理者になって9年目（指定管理3期目の初年度）の今年度は、センター長が交代し、さらに常勤職員1名とパート職員1名を新たに加え、日勤5名、夜勤2名、アルバイト1名の職員体制でスタートしました。

近年の団体登録の動きを見ていると、長らく活動してきた団体のメンバーの高齢化や入会減少による団体維持の難しさと、一方で子育て世代の団体では、子どもの成長に伴って親の状況も変わり、団体の解散もしくはあすぴあを利用しなくなった等の動きが見られます。市民活動をしている中ではどちらも当然起こり得る現象です。「ねばならぬ」に縛られることなく、それぞれの団体の実情に併せてあり方を柔軟に決めていく、そのための支援もしていくことが求められています。

前年度秋から検討を重ねてきた「市民活動の裾野の拡大事業」が〈こだいら人財の森〉という名称を得、1年半に亘る準備を経て今年度末3月からスタートしました。これに伴い、センターのホームページをリニューアルしました。また事業のキックオフ・イベントとして、3月には「地域デビューパーティー」を開催し、たくさんの出展団体と予想を上回る来場者を迎えることができました。今後は、地道に周知活動を続けつつ、個人と団体の登録、そしてマッチングを1件1件丁寧に対応し、少しずつ実績を積み重ねていく必要があります。

社会の課題がますます複雑化しており、ひとつの策で解決するほど単純ではなくなっています。それを解決するためには、活動分野を横断したり、様々な立場の人たちがそれぞれの持てる知恵と労力を持ち寄る必要があります。このような社会状況を踏まえ、運営会議では、この指定管理期間、さらにその先の未来を読み解きつつ長期的な視点でセンター運営を行うために、事業計画の重点項目を検討し、以下のように確認しました。

その1 市民活動に参加する新しい人を増やす

- ①「こだいら人財の森」事業や2020オリンピック・パラリンピックをきっかけにする。
- ②未来を担う世代への先行投資として、SDGsや社会貢献、寄付等のトピックを学校へのアプローチのきっかけにする。

その2 今までの事業に一步進んだ取り組みを加える

組織運営に欠かせない課題（広報、会計、IT、理念共有など）解決のための学習の機会を継続的に企画するとともに、多角的な視点であらゆる分野の可能性を探る。

その3 市民活動を日常につなげる

地縁型コミュニティとテーマ型コミュニティをつなげる。

その4 複雑な地域課題を解決するために連携や協働を進められる人材を育成する

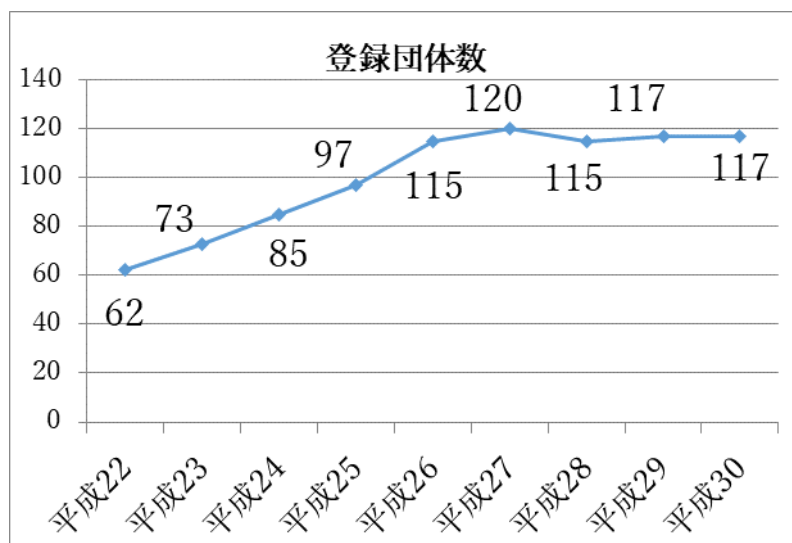
「誰も取り残さない」というSDGsの視点を取り入れ、多様な人々と共に柔軟に課題の解決に向かえる人材を育成する。

“情報の交差点（センター）”である市民活動支援センターあすぴあが、人、団体、情報、行政、地域を柔軟な発想でつなぐことが今後ますます求められているのではないかと思います。

施設・設備の利用状況

1. 登録団体数

登録団体数は、2018年4月117団体でスタートし、途中、取り下げおよび新規登録の数の増減がありましたが、2019年3月末現在117団体で終わりました。取り下げ理由は、「別団体を立ち上げるため解散」「会員の高齢化、会員減」などです。高齢化によって活動が縮小する傾向は、今後ますます増えていくことが予想されます。



あすびあ登録団体一覧表

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
1	H22		視覚障害者パソコン教室
3	H22		小平市けやきの会
4	H22		パソコン徒然草の会
5	H22	特定非営利活動法人	小平シニアネットクラブ
7	H22		はじめてのパソコンサークル
11	H22		小平図書館友の会
12	H22	特定非営利活動法人	小平ハートピア
13	H22		地域生活支援センターあさやけ
14	H22		こだいら参画の会
18	H22	特定非営利活動法人	小平子ども劇場
19	H22		こだいら市民提言の会
21	H22	特定非営利活動法人	匠リニューアル技術支援協会
22	H22	特定非営利活動法人	PIANT A TREE PLANT LOVE
23	H22		政治・知りたい、確かめ隊
26	H22		右脳いきいきクラブ
27	H22	特定非営利活動法人	ふれあいアカデミー
29	H22		インドな人口問題を考える会
31	H22		小平ターゲット・バードゴルフ協会
32	H22		うたごえ in 元気村
33	H22		ボーイスカウト小平第二団
34	H22		小平市女性のつどい
35	H22		たまの音楽家

36	H22		いきいき93
37	H22		精神保健福祉ボランティアの会「ひだまり」
39	H22		こだいらDV防止ネットワーク
40	H22		萩山・小川団地九条の会
44	H22	特定非営利活動法人	ACTたすけあいワーカーズ小平らいふえいど
45	H22		小平IT推進市民グループ
46	H22	特定非営利活動法人	アトリエ・パンセ
47	H22		ボーイスカウト小平第一団
48	H22		ガールスカウト東京都第176団
50	H22		小平少年少女青空学校
52	H22		小平市障害者団体連絡会
53	H22	社会福祉法人／つむぎ	社会福祉法人つむぎ おだまき
54	H22		合唱団「みらい」
55	H22		小平市自治基本条例市民の集い
56	H23		パソコン復習塾
57	H23		自転車スイスイ
60	H23		K. K. メンネルコール
62	H23	特定非営利活動法人	こども未来研究所
63	H23		小平市グラウンドゴルフ協会
65	H23		ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-
66	H23		小平おもちゃの病院
70	H23	公益社団法人	小平市シルバー人材センター
72	H23	特定非営利活動法人	こだいら自由遊びの会
73	H23		むさしの会
74	H23	特定非営利活動法人	ラスキア
75	H23		市民プラザこだいら
77	H23	特定非営利活動法人	ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会
80	H23		朗読小平教室「ひびき」
81	H24	特定非営利活動法人	MYstyle@
82	H24	特定非営利活動法人	だれもがともに小平ネットワーク
86	H24		たまり場フォーティワン
87	H24	特定非営利活動法人	小平市民活動ネットワーク
89	H24		小平ユネスコ協会
90	H24		小平断酒会
91	H24		熟年いきいき会
92	H24		音の会
93	H24		こだいら平和コンサート・合唱団どれみ
94	H24		グリーン研究会

95	H24		小平要約筆記サークル「ほおずき」
96	H24	特定非営利活動法人	障がい者職業支援 飛行機雲
98	H24		原発にさよならを／小平の会
99	H24	特定非営利活動法人	こだいらソーラー
101	H24		小平都市計画道路に住民の意志を反映させる会
103	H25		ママさんバンドサウダージ
104	H25		こだいら市民活動まちづくりネットワーク 2012
106	H25		小平Nゲージレイアウトサークル
107	H25		アロマサロン
109	H25	特定非営利活動法人	子育てサポートきらら
110	H25		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
111	H25		やすらぎコンサート Sana(さ～な)
112	H25		安心安全ウォークネット 壘
114	H25		親業でグッドコミュニケーション ラ・ピース
115	H25		プアナ・ティアレ
116	H25	一般社団法人	相続後見シニアサポート多摩
117	H25		点字の会「てんとう虫」
120	H26		日本太極柔力球小平支部
121	H26		さよなら原発 オール小平をめざす会
122	H26	特定非営利活動法人	こども未来ラボ
123	H26		小平市身体障害者協会
124	H26		きらきらカフェ
125	H26		ブルーベリーパラダイス
127	H26		小平はぐくみプロジェクト
129	H26		小平市脳卒中患者友の会
131	H26	特定非営利活動法人	ライフデザインむすび
132	H26		災害ボランティア未来
133	H26		苔玉会
134	H26		親子リトミックサークル ピッコロ
135	H26		こだいら国際協カプロジェクト Seed
136	H26		3.11に学ぶ小平の減災を考える会
137	H27		小平井戸の会
138	H27		小平市民後見を考える会
139	H27		玉川上水ストーリーテラーズ
143	H27		憲法カフェ@なかまちテラス
144	H27		中央大学小平白門会
145	H27		コーダー道場こだいら
146	H27		コミュニティ・プラネット s in 小平

147	H27		ごはん&小麦の幸せ時間
148	H27		ここぷらっと～こだいら・こども・こそだてプラットフォーム～
151	H28		小平市民まちづくり互助会
152	H28		はなこ哲学カフェいどぼたのいどほり
153	H28		小平市テニス協会
154	H28		スペースまる
155	H29		すいよう会
156	H29		小川体操
157	H29		Koi（こい）の会
158	H29		JSP
159	H29	特定非営利活動法人	終活支援センター 桐中会 小平事務所
160	H29		シルバー大学第 30 期OB会
161	H29		ザ・小平Jazz 座
162	H29		アイデア発明クラブ
163	H30		小平シャイニング
164	H30		小平日本語ボランティアの会・小川西町
165	H30		小平 FM 懇話会
166	H30		コミュニティ・サロンほっとスペースさつき
167	H30		みんなでつくる音楽祭 in 小平実行委員会
平成30年度末 あすぴあ登録団体数 117			

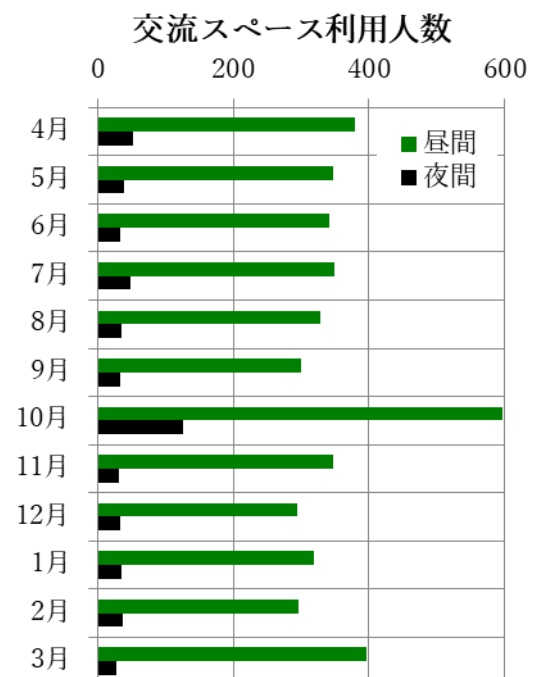
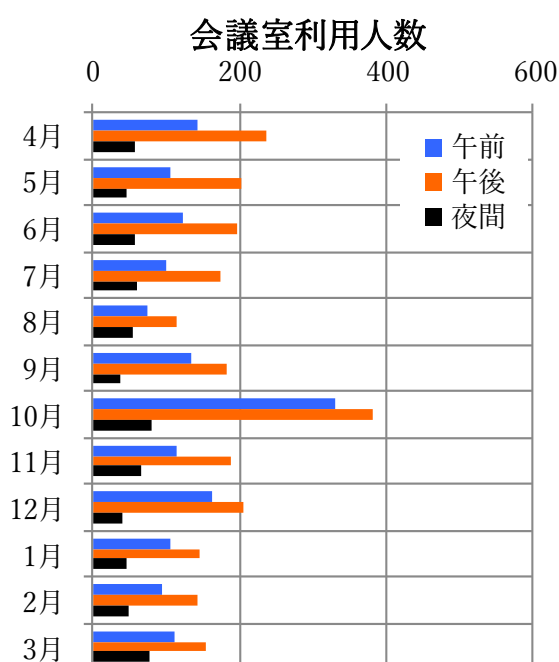
2. 施設及び備品の利用状況

【あすびあ利用者数 年間合計】

	会議室	交流スペース	講座・交流サロン	NPO フェスタ	合計
2018年度	4,593	4,832	227	980	10,632
2017年度	4,659	5,048	222	800	10,729

①会議室&交流スペースの利用状況

年月	開館日数	会議室								交流スペース			合計 人数
		午前		午後		夜間		合計		昼間	夜間	合計	
		人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	人数	人数	
2018/04	24	142	17	238	19	58	4	438	40	379	52	431	869
2018/05	23	107	13	203	17	45	5	355	35	347	39	386	741
2018/06	26	122	14	197	17	58	7	377	38	341	34	375	752
2018/07	25	101	14	174	15	60	4	335	33	349	49	398	733
2018/08	26	74	11	114	12	54	4	242	27	329	35	364	606
2018/09	24	135	17	182	13	39	3	356	33	301	34	335	691
2018/10	26	331	18	381	15	80	3	792	36	597	126	723	1,515
2018/11	23	114	14	188	15	65	5	367	34	348	31	379	746
2018/12	23	162	11	204	13	40	2	406	26	294	33	327	733
2019/01	23	106	13	145	13	46	2	297	28	319	36	355	652
2019/02	24	95	14	143	14	48	2	286	30	297	37	334	620
2019/03	25	112	16	153	16	77	4	342	36	397	28	425	767
合計	292	1,601	172	2,322	179	670	45	4,593	396	4,298	534	4,832	9,425



- ・利用者の要望を受け、年度末に会議室に無線 Wi-Fi のルーターを設置しました。
- ・交流スペースは団体登録していない方々も使用できます。印刷作業後の仕分け丁合をしたり、大きなテーブルでみんなで展示物を作ったり、またその際には備え付けの文房具を使うことができます。
- ・元気村館内の他の施設の利用者や職員が、お昼休憩やちょっとしたパソコン仕事に、また打合せや面談等にもよく利用します。それが縁であすびあの本を借りたりチラシを見ていたりしますので、このようなフリースペースでの情報提供が、市民活動や地域の課題に関心を寄せる大事なきっかけになることを感じます。

②市民活動パワーアップ講座参加状況

	開催日	テーマ	講師	人数
1	6月2日(土) &16日(土) 13:00~16:00	「こんな時どうする?!市民活動と法律」(2回)	北村二郎さん、日向寺司さん(NPOのための弁護士ネットワーク)	のべ 41名
2	10月6日(土) 13:30~16:30	思わず手に取るリーフレットを作ろう	林田全弘さん(グラフィックデザイナー)	22名
3	11月10日(土) &18日(日) 13:30~16:00	「組織運営の肝をつかむ 共感を支援につなげる活動資金づくり~さあ、ファンディングを始めよう~」(2回)	徳永洋子さん(ファンディング・ラボ代表)	のべ 37名
4	2019年 1月12日(土) 13:30~16:00	講演会「子ども食堂の現状と課題~安全・安心!子ども食堂の輪を広げよう~」	湯浅誠さん(社会活動家、法政大学現代福祉学部教授)	49名

*各イベントの報告は後頁参照

③市民活動交流サロン参加状況

	開催日	テーマ	ゲストスピーカー(法人格省略)	人数
1	6月9日(土) 13:30~16:00	小平市のこれからの協働について考える	こども未来ラボ、ここぶらっと、小平こども劇場	32名
2	10月28日(日)	留学生と話そう@NPO フェスタ	留学生6名	22名
3	2019年 1月26日(土) 13:30~16:30	団体の世代交代を語る	小平シニアネットクラブ、小平こども劇場、小平・環境の会	9名
4	2月21日(土) 13:00~15:30	障がい者福祉と市民活動との関わり~共生社会へのはじめの一步~	小平市障害者福祉課職員、小平市障害者就労・生活支援センターほっと職員	15名

*各イベントの報告は後頁参照

④機器(印刷機等)の利用状況

	2018年度	2017年度
印刷機利用枚数	267,200枚	223,100枚
複写機利用枚数	1,912枚	1,714枚
貸出パソコン用プリンター利用枚数	1,181枚	1,508枚
ラミネーター利用枚数 A3	50枚	45枚
〃 A4	71枚	23枚

・印刷機は、単色印刷の他に、黒・赤・青・緑の4色のうち2色を使う2色印刷も可能です。印刷前にあすびあの貸し出しパソコンで原稿の修正もできたり、パソコンとつないでUSB内のデータを印刷することもできます。

・前年度末、コイン式複写機を撤去したため、代替として通常業務で使用している複写機で有料サービスを提供しました。



1. 市民活動の裾野の拡大事業 こだいら人財の森

◆準備会は2018年1月から2019年3月まで計26回実施し、事業の組み立てから登録の仕方や様式、きまり、新しいサイトの構成に至るまで、この事業に関する全ての事柄を検討しました。また、東京ホームタウンプロジェクトのゼミに参加し、アドバイスも受けました。

- ・2017年10月 他市（相模原市、八王子市）を視察
- ・2018年3月 他市（八王子市、立川市）「お父さんお帰りなさいパーティー」視察
- ・同 5月 市民活動団体にニーズ調査を実施
- ・同 7月 上記調査結果報告を兼ねた意見交換会を実施
- ・同 8月 事業名を“こだいら人財の森”と決定
- ・同 11月 事業概要の説明会を実施



◆キックオフ・イベント

「市民と地域活動の出会いの場 地域デビューパーティー」

2019年3月16日（土）午後 福祉会館にて開催

- ・実行委員会 計6回開催
- ・参加団体の紹介冊子を作成
- ・パーティー出展団体 49団体 商店3店舗
- ・主催&団体関係者および一般来場者含め 約400名超が参加

◆事業のロゴ（上掲）とリーフレットを作成

◆あすぴあホームページをリニューアル

「こだいら人財の森」「市民活動団体データ集『むすぶ』」「イベント・カレンダー」の3つの新しいサイトを加えると同時に、サイトをSSL化し、3月1日からリニューアルオープンしました。



◆専門員の配置

◆3月から事業が始動したことに伴い、準備会を「委員会」と改称し継続しています。



2. 学習および交流の機会の提供

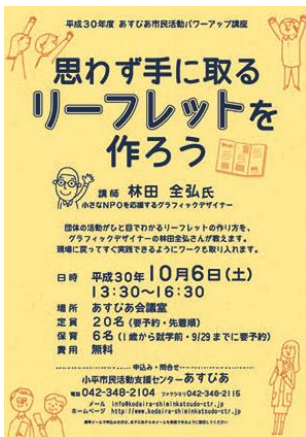
あすぴあの大きな特徴は「市民参加」です。3つの事業部会には多くの市民が関わっています。

イベント部会	パワーアップ講座や交流サロンの企画・実施
広報部会	「あすぴあ通信」の取材・編集・発行
フェスタ部会	元気村まつりの運営

① 学習会（市民活動パワーアップ講座）・講演会の開催



●「こんな時どうする?! 市民活動と法律」(2回)
 社会貢献的な活動でも、良かれと思ってやったことや深く考えずにやったことでトラブルになるケースがあります。さまざまな事例から、どこで何に気をつけたらいいかを学び、市民活動団体が安心して活動できるよう、専門家からお話を聴きました。普段何気なく活動している中に、法律を知っていると対処方法の備えができることが多いことがわかりました。



●「思わず手に取るリーフレットを作ろう」
 一人ひとりに対応できるように定員をいつもより少なめにしました。3時間の中に講義とワークを織り交ぜ、最後にはラフスケッチを描き、個別にアドバイスをもらいました。アンケートの結果、満足度が非常に高く、また半数以上が初めてあすぴあのイベントに参加した方々だったことも大きな収穫でした。講座後に講師とやりとりしてリーフレットを仕上げ、元気村まつりで配布した団体もありました。



●「組織運営の肝をつかむ 共感を支援につなげる活動資金づくり
～さあ、ファンドレイジングを始めよう～」(2回)



1日目はファンドレイジングの基本的な考え方と寄付について、2日目は会員拡大、助成金活用、事業収入アップ、それぞれのポイントについて学びました。ファンドレイジングは「夢をかなえる資金の調達」、その調達の過程で人々に共感の輪が広がり、自分の代わりに行動してくれる人に思いとお金を託すことです。この分野で20年のキャリアを持つ講師から繰り出される言葉は、どれも納得のいくことばかりで、ファンドレイジングは“団体のファンを増やすこと”と理解できました。



●講演会「子ども食堂の現状と課題～安全・安心！子ども食堂の輪を広げよう～」



3年前に、子ども食堂を実践している他市の方々を招き、交流サロンを実施。その時も反響が大きく、これから小平で始めるという方も参加され、そのあたりから小平での動きも本格化しました。その後時間が経つとともに、運営に伴う課題も出てきていると聴き、今回の講演会を企画しました。定員を上回る申込があり、会場の関係でお断りした方々もいました。湯浅さんのお話は、時に面白く、でも市民だからできるこの活動の意義を話してくれて、実践している人たちの背中を押してくれる内容でした。



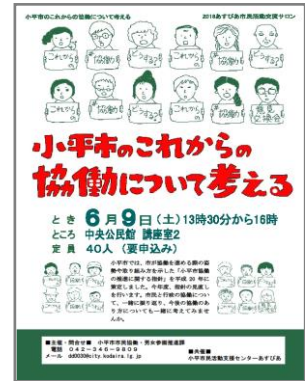
・講座・講演会や交流サロンは、市外の支援センターにも情報を流しているため、毎回市外からの参加者も数名います。

②市民活動交流サロンの開催

●「小平市のこれからの協働について考える」

「協働の指針」が出来てから10年になり、見直す節目にあたって、市民の意見を聴取するために、市民協働担当職員と一緒に企画しました。

公募事業で「協働」を経験した3団体の事例報告のあと、市民がグループに分かれて意見交換をし、今後の協働のあり方について建設的な提案が出されました。



●「留学生と話そう@NPO フェスタ」

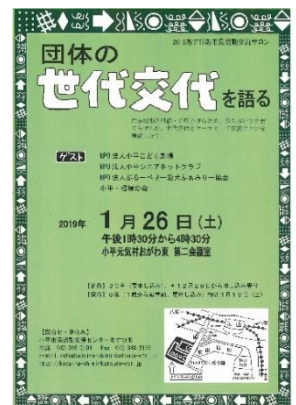


NPO フェスタの場を利用して、6か国の留学生を招き、国際交流をテーマにした交流サロンを開催しました。フェスタに来た方々に声をかけたところ、思った以上に多くの方々が参加してくれました。特に子どもたちの関心が高く、初めての試みでしたがスムーズに行えました。



●「団体の世代交代を語る」

ゲストスピーカー3団体から、団体の現状と世代交代をどうしているかを伺いました。会員の減少が続く様々な手を打って努力をしているが、会の維持が難しく世代交代を考える以前の問題があるケース、若い世代に受け入れられるには、時代の変化に応じて会の設立目的の見直しが必要ではないか、設立時の思いをわかってくれる若い世代を獲得したいなど、解決策は一つではなく各団体の事情に沿って考える必要があることがわかりました。



●「障がい者福祉と市民活動との関わり ～共生社会へのはじめの一步～」



意見交換の中で、行政の障がい別縦割りの弊害、災害時の対応、雇用の現場での偏見・差別や賃金の低さなどについて、当事者も含めて様々な意見が出されました。



③ NPO フェスタ in 元気村 2018 の開催

・今年も 10 月最終日曜日 10 月 28 日（日）に行い、お天気にも恵まれて 980 名の方々が来場してくれました。

・NPO フェスタ参加団体は 60 団体、そのうち初めて参加した団体も 10 団体あり、元気村の 4 つの施設（地域生活支援センターあさやけ、障害者支援施設おだまき、男女共同参画センターひらく、シルバー人材センター）や飲食店舗も加わり、賑やかに行われました。

・今年新たに取り組んだことは、「元気村まつり」の横断幕を発注して元気村入口近くのフェンスに掲示、小平西高出身の若手芸人“パンケーキ”の漫才、フィナーレで実施したビンゴゲーム、イベント部会主催の国際交流コーナーなどでした。

・お馴染みのぶるべやコダレンジャー以外にも子どもたちが楽しめるコーナーもあり、楽しくお買い物したりおいしいものを食べたりと、思い思いに楽しんでいる姿がたくさん見受けられました。

・参加者からは、「団体ブースの展示もそれぞれ特色があり、さまざまな市民活動を知ることができて有意義だった」「交流の場として素晴らしいのでスタッフも他のイベントを見て回れるとよい」「もっと広く知られ多くの人に体験してもらえたらいい」などの感想が寄せられました。



- ・実行委員会：6月9日（土）、7月15日（日）、8月19日（日）、9月13日（木）、10月11日（木）
- ・全体会：8月18日（土）、9月2日（日）、10月7日（日）



終了後約 1 か月間、交流スペースで「元気村まつり写真展」を開催しました。当日来られなかった方々や、参加していてもなかなか全部は見られなかったであろう方々が立ち寄って見ていました。

3. 市民活動に関する情報の収集および提供

① 広報の充実

◇ 市報掲載

・イベントや各種募集、お知らせ等は、市報掲載のタイミングを見てリリースしました。2018年7月から市報が個別配布となり、今まで以上に広く市民に行き渡る広報媒体になりました。参加者アンケートでも「知った媒体」のトップは市報です。

◇ メディアリリースほか

・イベントチラシやあすぴあ通信は、東京ボランティア・市民活動センター並びに他市の中間支援センター、地域のタウン紙宛にも送っていますので、パワーアップ講座や交流サロンには毎回市外からも参加がありました。特に湯浅誠さんの講演会はアサココに載った反響が大きく、会場の関係でお断りした方々もいました。

② あすぴあ通信：60～65号まで6回、毎回4000部発行しました。

◆60号（2018年5月）

- ・あすぴあ指定管理の新たな5年のスタート（職員や3つの事業部会の紹介、センター長のコメント）
- ・団体紹介（ザ・小平 JAZZ 座、アイデア発明倶楽部、終活支援センター桐中会小平事務所）
- ・本『デザインとコミュニティ』の紹介
- ・6月のイベントの予告



◆61号（2018年7月）

- ・ひの市民活動支援センター取材記
- ・団体紹介（日本語ボランティアの会小川西町、ほのぼのタオル帽子の会、ヘッドネーション）
- ・6月9日交流サロン「小平市のこれからの協働について考える」報告
- ・「市民活動と法律」講座の報告
- ・10～11月の講座の予告



◆62号（2018年9月）

- ・こだいら人財の森事業について（事業の説明や流れなど）
- ・10/28 NPO フェスタ予告
- ・団体紹介（小平市障害者団体連絡会 10周年、ゆうやけ子どもクラブ 40周年コンサート）
- ・10～11月の講座の予告
- ・本『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』の紹介



◆63号 (2018年11月)

- ・元気村まつり特集
- ・市内大学の学園祭から
- ・1月講座の予告



◆64号 (2019年1月)

- ・地域デビューパーティーの予告
- ・団体紹介 (忘れない3.11 展実行委員会、おうちきれい塾、東京2020オリンピック展パラリンピック小平市民プロジェクト)
- 「リーフレット講座」報告、「小平市内の大学の学園祭から」、1月のイベントの予告



◆65号 (2019年3月)

- ・湯浅誠氏講演会の報告
- ・西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ見学記
- ・団体紹介：手芸による社会貢献 (布の遊具“ひまわり”、チクチク会)
- ・3.16 地域デビューパーティー速報
- ・平成31年度版『むすぶ』完成の案内
- ・終了したイベントの報告 (世代交代サロン、障がい者福祉と市民活動サロン)



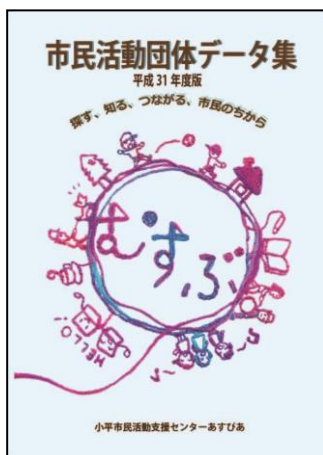
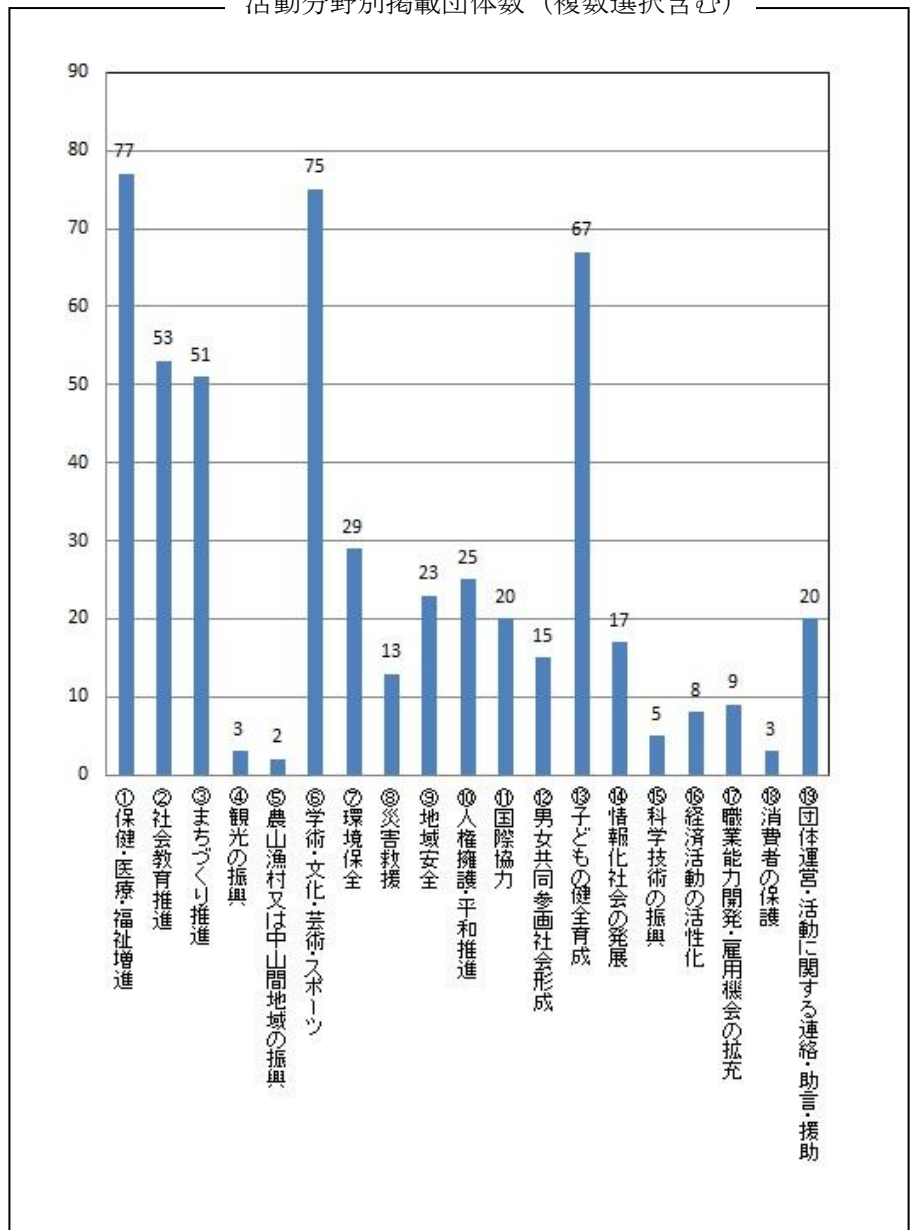
* 「あすぴあ通信」は以下のところに配布・配架しています。

市内公民館、市内地域センター、市内図書館、東部・西部出張所、市役所1階資料コーナー、地域振興部市民協働・男女参画推進課、福祉会館、国際交流協会、総合体育館、健康センター、小平市社会福祉協議会こだいらボランティアセンター、市内地域包括支援センター、昭和病院、小平市医師会、歯科医師会、西武薬剤師会、民生委員・民生児童委員、市議会議員、市内大学、ルネこだいら、タウン紙、都内の中間支援センター&行政担当課 (一部)、元気村館内、あすぴあ登録団体 ほか

③平成 31 年度版市民活動団体データ集『むすぶ』

- ・本誌は、市内の全ての活動団体を網羅できているわけではありませんが、掲載を希望する団体は趣味のサークルまで幅広く受け入れているため、様々な切り口で活用できるデータ集です。
- ・毎年 4,000 部発行し、あすびあのほか、市役所市民協働、中央公民館、ボランティアセンターでも無料で配布しています。また、公民館地区館や地域センターにも配布しているので閲覧が可能です。
- ・中央公民館主催のシルバー大学では、カリキュラムの一環で地域の活動団体を探す際に利用されています。
- ・前年度末に完成し配布した平成 30 年度版（掲載団体 245 団体）は需要が多く増刷しました。平成 31 年度版（2019 年度版）は 2019 年 3 月に発行し、掲載団体は 220 団体でした。

活動分野別掲載団体数（複数選択含む）



④ ホームページ

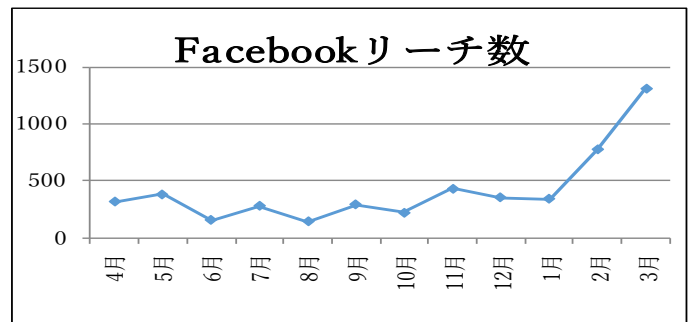
- ・担当職員を増員して更新頻度をアップし、タイムリーな情報発信に努めました。
- ・「こだいら人財の森」事業の開始にあたって、外部業者に委託してホームページのリニューアルを行いました。3つの新しいサイト「こだいら人財の森」「市民活動団体データ集『むすぶ』」「イベント・カレンダー」を加えると同時にSSL化し、3月1日からリニューアルオープンしました。

⑤ メールマガジン

- ・利用登録団体のほか、イベントごとに募集した情報希望者や、職員や指定管理者理事と名刺交換した人などを積極的に加えました。
- ・内容は、あすぴあからののお知らせやイベントの予告を中心に、助成金情報やその他の情報などで、毎月月末に配信し、通算47号になりました。パワーアップ講座・交流サロンやNPOフェスタのアンケートでも、「知った媒体」としてチラシやポスターと並び大事な広報媒体のひとつになっています。

⑥ Facebook

- ・ホームページへの誘導も組み込み、随時アップするように努めました。配信コンテンツの数でリーチ数は変動しますが、2～3月にかけては人財の森や地域デビューパーティーの告知を行いましたので、伸びが大きかったと思われます。



- ・メールマガジンと同様、大事な広報媒体となっています。SNSは今後ますます大事なツールとなるでしょう。

⑦ 補助金・助成金等の情報収集・提供

- ・センターには、チラシやメール等でさまざまな助成金情報が送られてきます。館内に配架するほか、月末のメールマガジンでまとめて情報発信しています。また、分野が該当する団体向けにも随時配信しています。



⑧ チラシ&ポスター等の情報提供

- ・市内の市民活動団体から持ち込まれるチラシやポスターの他、センターには都内各地のみならず他県からもメールや郵送で情報が届きます。あまり広くはないスペースを最大限活用して多くの情報を提供し、期限の過ぎたものは1部をファイリングして、常に新しい情報を提供するように努めました。

⑨ 団体紹介展示コーナー

- ・団体の活動を展示で紹介出来るコーナーです。今年度は、「アイデア発明クラブ」「こだいら市民後見を考える会」「精神保険福祉ボランティア ひだまり」「チクチク会」が展示しました。



⑩ 閲覧用図書・資料の整備

今年度新たに増えた図書&雑誌は以下です。

(購入および寄贈本含む)

『英国チャリティ その変容と日本への示唆』

『わかる！できる！ NPO 法人会計』

『デザインとコミュニティ』

『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』

『「参加の力」が創る共生社会 -市民の共感・主体性をどう醸成するか-』

『小平学・まちづくり研究のフロンティア』

『子ども NPO 白書 2018 第2号』

『子どもが増えた！ 明石市 人口増・税収増の自治体経営（まちづくり）』

『NPO・市民活動のための助成金応募ガイド 2019』

東京ボランティア・市民活動センター機関誌『ネットワーク』

大阪ボランティア協会機関誌『ウオロ』



*これ以外の蔵書は、あすぴあのホームページをご覧ください。

⑪ その他の広報活動

▼広報アクション@市役所

あすぴあの認知度を上げるため、NPO フェスタの宣伝も兼ねて、市役所ロビーにブースを出して周知活動を行いました。併せて、簡単なアンケートも行いました。

日時：10月2日（火）～5日（金） 9:00～12:00 12:00～15:00

アンケート項目		10/2 (火)	10/3 (水)	10/4 (木)	10/5 (金)	計
あすぴあを知っていますか？	はい	3	19	13	10	45
	いいえ	7	13	25	16	61
地域活動をしていますか？	はい	4	19	13	13	49
	いいえ	6	13	32	12	63
人財の森に興味ありますか？	はい	6	28	27	11	72
	いいえ	4	1	18	13	36



▼対外発表

2018.12.4 「小平学・まちづくり研究所」2018年度第3回研究会で「あすぴあの9年～市民活動中間支援組織の役割と課題を考える～」と題して登壇しました。

4. 問合せ・相談・支援

・今年度は合計 44 件ありました。内訳は、個人からの問合せ・相談が 23 件、団体からの問合せ・相談が 15 件、他機関からの問合せ・依頼が 6 件でした。このうち、他機関から紹介されてあすぴあに問い合わせしてきたのが 3 件ありました。また、別個に時間をとって理事が対応する「市民活動なんでも相談室」は 2 件、その内容は団体解散、会計書類のチェックに関してでした。

・今年の特徴は、2 年前の NPO 法の一部改正に伴う貸借対照表の公告への対処方法の相談が 3 件あったことです。

・こだいらボランティアセンターや中央公民館からの問合せ・相談もあり、AKVS での連携の効果を感じました。

・助成金申請書およびその報告書に関する相談には、研修を受けた職員が基本的な留意点を伝えました。

・明治製菓の CSR 活動として、子どもの福祉関係の活動等（条件付き）をしている団体に同社のお菓子を寄贈するという情報を入手。該当する市内の団体に通知、希望のあった 4 団体を申請した結果、12 月初旬に全団体に寄贈を受けることができました。

・人財の森事業が本格始動する前から、興味を持つ人からの問合せが数件あり、自分にできることで社会の役に立ちたいという思いを持っている人が地域にいることがわかりました。

5. 職員・理事・事業部会員の市民活動支援力の向上

①職員研修

- ・新任研修の他、運営会議の傍聴、またあすぴあ主催の講座には積極的に参加しました。
- ・こだいら人財の森事業に関する窓口業務および新ホームページの研修も行いました。
- ・東京ボランティア・市民活動センターや他市のセンター主催の講座などにも参加しました。

②あすぴあ勉強会

職員や理事、事業部会員を対象に、学習と情報交換の場を定期的に設けました。

〈テーマ〉

- ・「小平市協働の推進に関する指針」
- ・『ウォロ 2011. 1&2 月号』より「あしたのコミュニティ FM」
- ・交流サロン「小平市のこれからの協働について考える」の振り返り
- ・『NPO マネジメント 2011. 4 月 終刊号』より「NPO のこれまで 10 年から、これから 10 年を見つめる」川北秀人氏と加藤哲夫氏の対談
- ・『ネットワーク No.354』より「あすマネ 活動の始め方と運営」
- ・職員外部研修「新宿協働推進センター主催 助成金講座」の報告
- ・『ウォロ』より「官設民営市民活動センターの現状とこれから」
- ・「小平市協働の推進に関する指針（改訂版）」

6. 利用者の要望・意見の把握

①利用者アンケート

2019年1月10日から26日まで実施した結果、118枚の回答を得ました。

★回答者の属性

・性別年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無記入
女	6	2	10	15	16	17	2	1	5
男			1	3	9	24	7	0	

・居住地

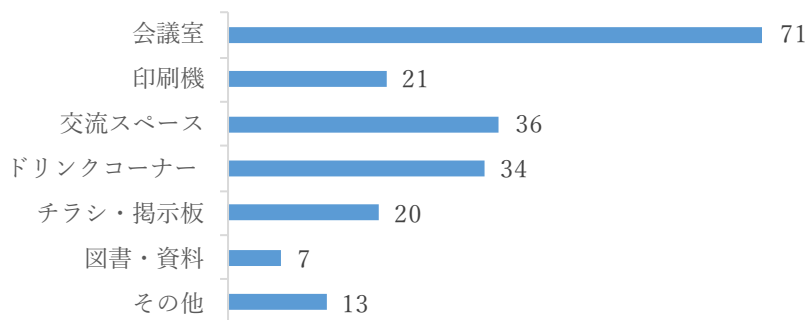
市内	市外	無記入
79	33	6

設問1. 利用回数はどれくらいですか。

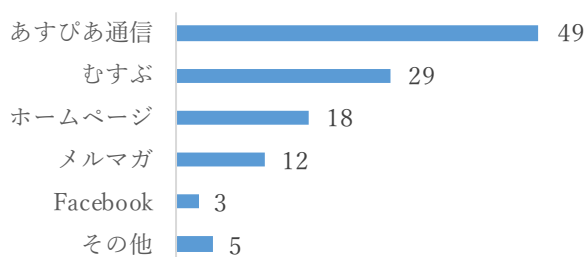
はじめて	月1回	月2回	月3回以上	未利用	無記入
9	43	21	26	9	10

設問2. 何を利用しましたか〈複数回答可〉

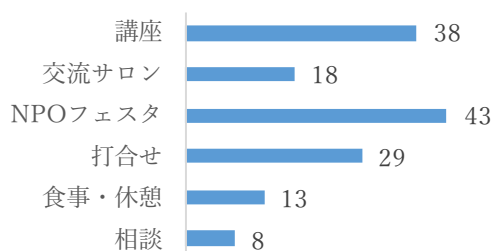
施設備品



広報関連



イベントほか



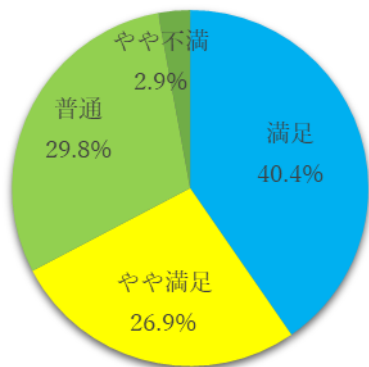
ドリンクコーナー

設問3. 全体的な施設の満足度はいかがですか

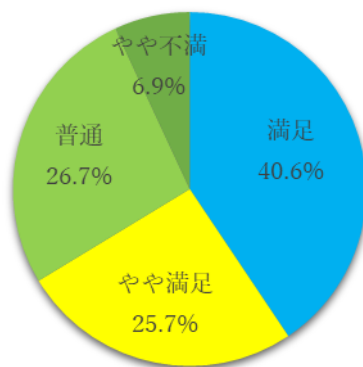
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
A	施設の利用方法	42	28	31	3	0	14
B	施設の使いやすさ	41	26	27	7	0	17
C	施設の開館日・利用時間の設定	43	21	32	3	0	19
D	スタッフの対応	59	28	14	2	0	15
E	利用目的の達成度	53	24	19	4	0	18
F	全体の満足度	44	34	19	2	0	19

* 下記グラフは、上記選択肢から「無回答」を除いてあります。

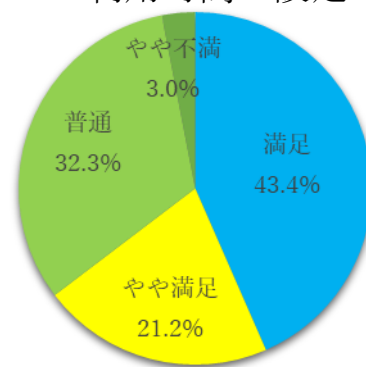
A. 施設の利用方法



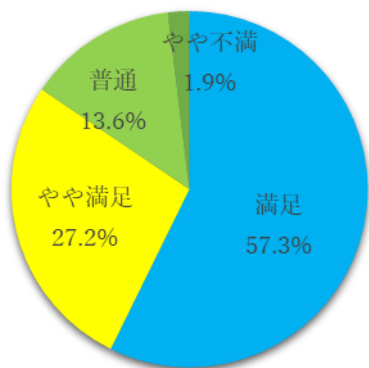
B. 施設の使いやすさ



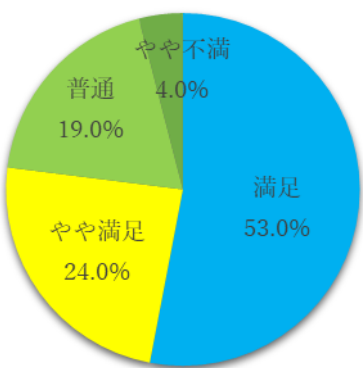
C. 施設の開館日・利用時間の設定



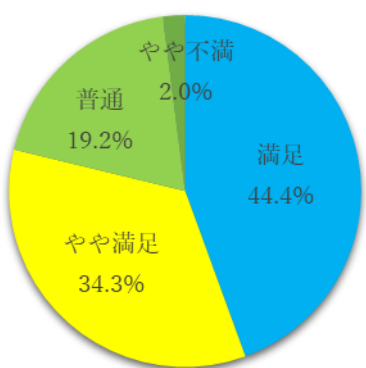
D. スタッフの対応



E. 利用目的の達成度



F. 全体の満足度



利用者アンケート 自由記述

たくさんのご要望やご意見をいただきました。ご要望に関しては以下のようにお答えしました。

ご要望	回答
印刷機やパソコンを最新のものに更新されてはいかがでしょうか	印刷機は2018年3月に新しくしました。
Wi-Fiが使いやすいと助かる 現在、あすぴあ会議室では有線LANは使えるが、複数人でパソコンやタブレットのインターネットを使う場合はケーブルが多くなって大変なので、無線Wi-Fiルーターを是非常設してほしい	2019年3月から会議室に無線Wi-Fiルーターを常設しました。
会議室を定期的に使いたいのですが（学会ビデオの月1回上映です）	抽選申込で希望が重なった時は抽選して決定しておりますので、定期的なご利用に必ずしもお応えできないこともあることはご了承ください。
ホームページへの改善点 ①トップページであすぴあのFacebookへのリンクを貼ってほしい ②NPOフェスタの1分動画、2017年と2018年も掲載してほしい	検討します。
登録団体のホームページを作り公開する。	あすぴあが各団体のホームページを作ってさしあげることはできませんが、2019年3月から新たに市民活動のポータルサイトを設けます。その中には、市民活動団体データ集『むすぶ』が検索機能付きで公開されると共に、団体のイベントがわかる「イベント・カレンダー」も登場しますので、ぜひご活用ください。
市内のNPO等の交流の場としてもっと活用できないでしょうか。	今後、さまざまな交流の形を検討していきます。
場所が悪い。ボラセンの様に市役所の近くにある方がよいのか、それとも公民館のかわりに使える施設なのか？	会議室が1つありますので、利用団体登録をしていただければ使用できます。また、交流スペースは登録無しでも打合せや作業に使っていただけます。
視覚障がい者が館内を移動する時、点字ブロックや音声案内などがなく不便 トイレが冷たい。 駐車場をもっと広くしてほしい 場所が少々わかりづらかった 月曜日開館は無理でしょうね 中央の施設（市役所、公民館等）からの便が悪い	元氣村施設および市への要望として引き継ぎます。

その他のご意見（抜粋）

<p>・アットホームな雰囲気です。</p>
<p>・スタッフ皆様の努力に感謝、私たちの居場所の一つ 居場所は大切にしたい。</p>
<p>・現在小平市では公共施設マネジメント関連の市民参加が数多く行われています。あすぴあでも昨年秋に「なるほど出前講座 デリバリーこいだいら」を利用した公共施設に関する出前講座がありました。（元気村としては小平市女性のつどいに先を越されましたが）この出前講座の利用は良かったと思います。出前講座は一定の人数が集まらないと呼べません。あすぴあが代表して出前講座を呼んでくれると登録団体も交流スペースに来た市民も知識が豊富になったり、市民活動に役立つ情報が得られたり、市職員も発表の機会があってよいと思いました。</p>
<p>・不満ではないのですが、今年度は施設職員の交代などあって色々慌ただしかったと存じます。そういったことでメールの対応などスムーズにやりとりできていたことが時々滞った時に少々ドキドキしましたが、おおむね問題ありません。いつもお世話になり、ありがとうございます。</p>
<p>・とてもお世話になっております。このように利用させて頂けるスペース、また、相談にもものついでいただける場は他にはないので、市民活動をしている団体にはとても貴重だと思います。</p>
<p>・まだ意見を記入するほど参加をしていないので言えません、支援センターの存在をもっと知ってもらえば活気が出ると思います。</p>
<p>・外部への発送が少ない様に感じました。</p>
<p>・我が会は月曜日が定例日です。あすぴあの定休日と同じなのがやや不満！ 利用回数はイベント有無によって頻度変わります。</p>
<p>・家が近くないと、子供が幼稚園小学校に上がると行動範囲が変わって利用する機会がなくなってしまう。</p>
<p>・広くてよい場所ですが、今まで2回ほど会議で使いましたが、他の人はほとんどいなく日中利用している人はどれだけいるのでしょうか？スタッフも1日中いる必要があるのでしょうか？もっと有効利用の方法があるのではないのでしょうか？</p>
<p>・図書などもっと利用したいという思いはありますが、やはり家や事務所から遠いとなかなか利用するチャンスがありません。（借りるのはいいのですが返しに行く手間を考えるとあきらめちゃう）</p>

②利用者懇談会

- ・2019年3月2日に実施し、参加者は8人でした。「小平マジック連合会」の実演を披露してもらった後、利用者アンケートの集計結果を報告し、スタートしたばかりの「こいだいら人財の森」事業の説明も行いました。
- ・アンケートでも要望の多かった「会議室への無線 LAN ルーターの設置」は早速検討し、年度内に設置、会議室のインターネット環境の向上をはかりました。

③運営サポート会議

- ・センターの管理・運営を公平適正に行うために、登録団体、公募市民、地域住民、社協、有識者等で構成される会議を3回（7月、11月、2019年3月）実施しました。
- ・団体の世代交代、AKVS(地域福祉活動および市民活動の中間支援に関する情報連絡会)の見える化、NPO フェスタ、公共施設マネジメント、こいだいら人財の森など、その時々にあすぴあ事業や関連する話題について意見交換しました。

7. 他機関、施設、組織との情報交換、ネットワークづくり

◇ 防災・危機管理活動

① 消防訓練

理事と職員で自衛消防訓練を行なった他、10月の元気村全体での消防訓練にも参加しました。

② 館内連絡会

偶数月に、元気村村長が招集して館内全ての施設から代表職員があすぴあ交流スペースに集まって情報交換を行いました。

◇ 地域連携活動

① AKVS(地域福祉活動および市民活動の中間支援に関する情報連絡会)

- ・あすぴあ(A)、中央公民館(K)、社会福祉協議会こだいらボランティアセンター(V)、市民協働(S)が集まり、それぞれの事業の情報交換を行う場です。
- ・今年度は「こだいら人財の森」のキックオフイベント・地域デビューパーティーへの協力もお願いし、出展団体の募集からパーティー実行委員会への出席、当日の準備まで一緒に行いました。
- ・今後も、それぞれの事業でお互いのイベントやAKVSのことを広報する「AKVSの見える化」を積極的に行なっていきます。

② 自治会・町会等

- ・学園西町地域連絡会には引き続き関わりました。そこで課題として挙がってきた「学校と地域のよりよい連携のために、大人がボランティアや地域課題を理解する」目的で、AKVSの連携を活かしてあすぴあからワークショップの講師を紹介し、市民協働やボランティアセンターと共に準備を進めました。
- ・年度末には学園東町地域連絡会も発足し、あすぴあも出席して関係作りを始めました。
- ・年に2回(5月、1月)、市内全域の自治会を対象に行われる自治会地域懇談会にも可能な限り出席しました。市民活動支援センターを認知してもらうと同時に、地縁型コミュニティーである自治会・町会の様子や課題を把握し、センター並びに市民活動に何ができるのかを模索しました。ここへの出席が縁で、上水南町の自治会の方が防災講座の相談にみえ、「忘れない3.11展」を紹介しました。

③ 中央公民館事業企画委員会：4~9月まで毎月1回参加

- ・中央公民館を利用している市民やさまざまな団体・所属の方々と共に、公民館事業としてふさわしい企画を練り上げる場に参加しました。企画の主な対象は個人、企画内容も個人の社会教育的な内容のものが多かったですが、中にはあすぴあの企画の参考になるものもありました。また、講座後にサークル化した後はあすぴあの講座や交流サロンにつなぐことが可能であることもアピールしました。

④ 忘れない3.11展への参加

・5月から実行委員会に参加しました。今年度の出展は、センターに届いている震災関連のチラシ・ポスター・書籍の紹介と共に、災害ボランティア経験のある職員のトークサロンを実施しました。

⑤ 市外の支援センターとの情報交換・交流

・7市・市民活動情報連絡会

これは八王子、日野、三鷹、西東京、府中、調布、小平の7市の間支援組織が集まって半年に1度開いています。今年度は8月に府中で、1月に三鷹で開催され、センター長、指定管理者理事長、理事1名の3名で参加しました。

・東京ボランティア・市民活動センター センター長会議&事務局会議

時間の許す限り出席し、あすぴあの事業をアピールするとともに他市の間支援組織の職員と交流しました。

⑥ 津田塾大学インクルーシブ教育支援室との交流

・指定管理者である NPO 法人発行の情報紙「連」の取材をきっかけに、同室との関係作りを始めました。

・その後、武蔵野美術大学にもおつなぎし、また担当の准教授には運営サポート会議の委員として関わってもらいました。

8. 施設見学の受け入れ等

①施設見学

5月 仲町公民館子育て支援講座より 8名

9月 東村山市市民部市民協働課より 7名

②大学生のインターンシップ

今年も大学2年生1名を受け入れました。

9. その他

① 市民協働主催事業への協力・出席

・前年度の協働事業のフォローアップ支援交流会や大学連携「まちでたのしむ」、市民活動応援講演会の広報に協力した他、当日も参加しました。また、協働の推進に関する職員研修会にも参加しました。

② 公共施設マネジメント関連

・小川駅西口再開発ならびに中央公民館周辺施設等の建て替え・複合化に関して、市民意見交換会に参加しました。また、あすぴあ登録団体向けに出前講座「デリバリーこだいら」を実施する一方、あすぴあの利用者・利用団体のヒアリングの場も設けました。

・あすぴあとしての見解を運営会議でまとめ、市民協働を通して公共施設マネジメント課に提出しました。

2018 年度経費内訳		単位:円
	2018 年度実績	内訳
収入合計	17,024,257	
指定管理料	16,877,000	
雑収入	147,257	印刷機・コピー機・プリンター使用料、雑収入
経費合計	17,632,072	
1 人件費	10,109,693	常駐スタッフ昼間 2 名、夜間 1 名(給与手当+福利厚生費)
2 事務費	78,918	文房具、用紙、カラープリンターインク、図書費
3 管理費	3,697,246	研修費、委託費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、コピー機・パソコン等貸借料、保険料、諸謝金、租税公課 支払い手数料、雑費、雑損、一般管理費
4 事業費	3,114,415	情報収集・発信事業費、セミナー開催・講師派遣等事業費、普及啓発事業費、ネットワーク構築交流拡大事業費、相談事業 《市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、NPOフェスタ、閲覧用図書、あすぴあ通信、むすぶ、こだいら人財の森》
5 消費税等	631,800	

